

は見込めると考えた。市としても補助をしている。前の形にすると路線も重複して、事業所撤退になれば、市民の足の確保が今より低下する結果になる。今後はさらに事業者を利用者の声を反映させ、新規路線や本数を増やすよう要望していく。

「福祉人材確保指針」の見直し

問 連続した介護保険法の改悪で、事業所は介護職員を確保できない事態になっている。国の「見直し作業」に向けて市内福祉労働者の声をしっかりと上げていただきたい。

答市長 国は平成21年度の介護報酬改定に向け実態把握の実態調査を行っている。適切な介護報酬が決定されるよう機会をとらえ国に要望していく。

川野橋交差点に信号機設置を

鈴木 加蔵

問 川野橋の北側部分においては、道路が狭くゆるやかにカーブしており、鍋小路用水路側か



川野橋

らさくら通りを横断する際は、特に見通しが悪く危険、交通事故も多数発生しており、早期の信号機設置を。

答市民生活部長 川野橋交差点の信号機設置に関しては平成14年6月に請願が採択され、以降毎年度吉川警察署へ要望書を提出しておりますが、埼玉県公安委員会が交通量等の状況から信号機による交通整理を行う必要性などについて調査し、必要性、緊急性の高いところから順次設置しております。しかしながら、県内警察署から信号機設置要望が多く、厳しい状況と聞いておりますが、今後も引き続き早期設置に向けて要望してまいります。

中川改修整備後の河川敷利用は

問 須賀、榎戸地区の中川が改修され河川敷が広くなるので、運動公園、フラワーパーク、ふれあい広場等、造って欲しいと地元住民はじめ、多くの市民が河川敷の利用を期待しているが。

越谷総合公園川藤線

問 東埼玉道路のアクセスとしても重要です。今後の見直しは。



跡地の活用負担で市民の税金を使わず吉川新駅設置と周辺開発

齋藤 詔治

から反対の意見が寄せられているが、どのように対応していくのかお伺いします。

問 今まさに公共経営（民間の協力）の時代です。恵まれた吉川市の地域性、独自性を十分に生かす地方行政の自立・自活は今進めている武蔵野操車場跡地及び周辺開発です。吉川市を豊かにする最高のチャンスです。土地の売却を進めている国鉄清算事業団に吉川市のためにさらなる負担をお願いし、周辺と一体で市の財政負担の無い、素晴らしいエコロジーのまちづくり。

答市長 埼玉県と共同で開催した公聴会には11人の方から意見口述があり、縦覧者は6人、意見書の提出者は255人の方で657通あり、主な意見内容は跡地と周辺地区93haは一体で整備、土地所有者が一人であり区画整理をする必要がないというもの、当市は跡地を先行整備し周辺地区を段階的に整備する現行方針を変更する考えは、今ありません。また、環境に配慮し災害に強い安全安心なまちづくり等であり、ご意見の趣旨を十分踏まえ反映させてまいります。

国保税の引き下げと健康診査の充実を

遠藤 義法

問 国保加入者は低所得者、無職者が増えており、4人家族で所得が300万円の場合、国保税は38万円を超えるなど、負担が重すぎる。所得に占める国保税の負担割合からも国保税の引

答市長 新駅設置の費用負担は吉川市が30%清算事業団70%で概ね合意、その他新駅設置に必要な用地の無償提供や既存の河川整備等をお願いし、市の財政に特段の配慮をいただいています。